



移住者名	Aさん
都道府県	滋賀県 沖島
移住先	京都府⇒沖島
移住年	2018年
職業	会社員⇒地域おこし協力隊
家族構成	家族
移住形態	1ターン

Q. 移住したきっかけは？

初めて訪問した沖島はちょうど秋祭りの準備の日でした。年男たちが中心になって島の反対側から切りだしてきた長い竹を船にのせ、弁財天の祀られている神社にあがる浜の棧橋につけ、手際よく吹流しを立てる作業の一部始終をながめていました。9月初旬、まだ日差しも強いなか日陰をさがしつつ赤い鳥居の近くの岩に腰掛け、男性らが作業の合間に子供のころのたわいもない思い出話をしているのに聞き耳をたてながら琵琶湖をながめ、自分たちの暮らす街中とはまったく違った時間の流れに惹かれました。

Q. 移住の際不安に思ったことは？

IT関連のサービス業を長年していましたので、当初は在宅型コンタクトセンターでヘルプデスク業務をしようと思っていました。ところが、移住を決めた後に島のインターネット事情を確認したところ契約先の回線につないで業務をすることができないと分かりました。その時点では、不安というより予想外の展開に離島暮らしの難しさを目の当たりにしました。せっかくご縁ができた沖島になにか仕事の募集がないか探していたところ、まさに近江八幡市沖島町が地域おこし協力隊募集していることを知りました。そこから先は不安というより、沖島で自分に都合のいいような過度の期待をしないように常に意識しました。

Q. 移住して良かったことは？

沖島に移住して気が付いたことですが、私と小学生の息子は心身ともに街の喧騒に疲れていたと思います。移住した当初から、農作業に行く途中で家を覗き込んで声をかけていただく島のおばちゃんがいったり、野菜を置いて行ってくださったり、また、初物の水揚げでころなしか高揚している漁師さんにであって言葉を交わしたときなど小さな幸せをわけていただいたようで、島のコミュニティに包みこまれ心地よく生かしてもらっていると感じます。



Q. 移住を考えている方へメッセージ

家族での移住はおすすめです。一つ言えることは、可能な限りお子さんが小学校にあがるまでか低学年の早い時期がいいと思います。子どもさんが中学校、高校に上がるタイミングで過疎地特有の通学の問題や、進学先の問題に直面すると思います。よりよい環境で家族で暮らすのが目的の一つであればせめて6年間はみっちり地元の小学校で過ごすことができるようにすることがベストだと思います。